

文字保存機能付き透明文字盤システム

透明文字盤を利用したコミュニケーションの読み取り者の作業負担を軽減する

なんのための研究？

透明文字盤を利用したコミュニケーションにおいて、読み取った文字を記憶したりメモ書きをすることが困難な場合があります。そのような場合でもデジタルペンを利用して指差した位置を検出し、読み取った文字の保存が可能になります。

・視線の読み取りに気を取られるあまり読み取った文字を忘れる・・・

・読み取った文字を記憶することができない・・・

・メモ書きしていると、会話が途切れてしまう・・・

研究のポイントは？

デジタルペンを利用するとペン先の2次元平面における位置を検出することができるので、透明文字盤上に予め配置し指差した文字を特定できます。透明文字盤で見つめられた視線を読み取りつつ、その文字を保存していくことができます。



実用化に向けて

普段使っている透明文字盤にアタッチメントを取り付け、文字の配列と余白を指定すればどの文字盤でも利用できます。読み取った文字は専用アプリケーションに保存することもできますし、Wordに転送して再変換機能を使うことで漢字混じり文にすることができます。



研究代表者

国立障害者リハビリテーションセンター研究所
福祉機器開発部
伊藤 和幸 itoh-kazuyuki-0923@rehab.go.jp

